愛教労
愛知県教職員労働組合協議会

第 224 号
2015 年 8 月 10 日

愛教労ニュース

愛知県教職員労働組合協議会　発行
〒460-001
名古屋市中区大須 4-14-57 山岸ビル
TEL（052-242-4474）FAX（052-242-2938）
編集・発行　愛教労情宣部
愛教労 HP http://www.aikyourou.jp/
e-mail:　aichi@aikyourou.jp

『夏の学習会』を開催しました！

7／25(土)、労働会館で「2015愛教労夏の学習会」が開催されました。最高裁で、鳥居公務災害訴訟の勝利が確定した今年、中学校教員の多忙化の元凶である部活動の問題に光を当てる名古屋大学教育学部の准教授、内田良氏による全体会講演と4つの分科会が行われました。

「部活動顧問の QOL － 先生と子どもの安全・安心を考える」 内田 良 氏

「都道府県別のいじめ認知件数」のデータが提示され、「どこの都道府県に住みたいですか？」という問いかけから講演は始まりました。「エビデンス(科学的根拠)を軸として、教育リスクの検証や解明に取り組み、現実を直視しなければならない」という内田良氏の話に引き込まれ、プロジェクターで映し出されるスライドを食い入るように見つめる参加者の姿が多数見られました。

本来自主的であるべき部活動が現場の教師や子どもを、その意に反して縛っている現実、「教育の論理」ではなく「競技の論理」で行われるために子どもの健康や安全のリスクが無視される「脳しんとう」の事例などが、豊富なデータで示されました。そして「死亡事故ゼロ」に向けて動き始めた「全柔連」の取り組みは、エビデンス(科学的根拠)が変化を生み出す力になることを参加者に教えてくれました。

ホームページや FACEBOOK の案内を見て、地元の学生さんや、埼玉や宮崎など遠方から足を運んでくださった方々もいて、大盛況でした。

措置要求で職場改善

O 市の小学校に勤務するＳさんは、愛知県人事委員会に2度、措置要求を行った。その内容は、「勤務の割り振り」により「休憩時間」を確保させること、休養室を設置させること、事業者である教育委員会の職務代理者（校長）が職員の健康・安全面について意見を聞く機会を持つようにさせること。その後、休養室も設置された。要求書には法律を明記すると説得力がある。

I 市では市教委交渉の前に要求アンケートを行っている。要求に対する回答が事前に印刷物で出されるのは県内でも珍しい。

勤務の割り振りについては学校によって様々である。平日の超過分を長期休みに正確に割り振っている学校もあれば、夏休み中の勤務は4時までとする学校もある。

A 小では、以前、水やり当番の女性教師がくも膜下出血で倒れたことが教訓となって、それ以来、割り振り変更簿が使われている。

鳥居判決では時間外勤務も「包括的職務命令」として認められたが、教員の「何でも屋」のような働き方を見直す必要があると提起された。

若い教員たちは常に周りに気を遣い、命令されなくても進んで仕事をやろうとする。勤務時間が過ぎていても平気である。校長もそれに割り振りをすることもなく、ただ働きを黙認している。

組合員のいる学校だけが割り振りをとらせ、うまくいっているだけでは十分とは言えない。どの学校でも普遍的なものにするにはどうすればよいのか考えたい。特別支援学校での勤務の割り振りも、今後、注視すべきだ。鳥居裁判の判決を自分たちにどう生かすかが、我々の課題である。

組合のおかげでパワハラ解消

ある新任指導員は、新任教員へ威圧感のある態度、言動を繰り返し行っていた。服装や挨拶などにも必要以上に厳しく指導していた。ある日、指導員が新任の背中を強く「バシッ」と叩き、「ちょっと来い！」と怒鳴り、廊下に連れ出して叱りつけた。近くでその様子を見て、これはひどいと思い、新任の学年主任に報告した。主任から校長に報告されたが、その後の対応に誠意が見られず納得できなかったので組合会議で相談したところ、執行委員が市教委と校長に電話をかけてくれた。その後、指導員は口調も優しくなり、関係も良くなったという。この新任は、組合が動いて改善されたことは知らないので、何かの機会に話をして拡大につなげていきたい。

アンケート活動で現場の声を（尾北教労）

・主に記述式で、皆の具体的な声を集めている。
・「新任の方にお聞きします」「女性部の方にお聞きします」といった一部の人向けの質問を入れて書いてもらいやすくしている。
・ニュース（月に１回発行）にアンケートの声や周りの先生の声を載せることで、みんなが同じようなことを思っていることを知らせている。
・春に送る時には、人事アンケートも入れている。

喫茶店で「お話会」（三河教労）

・組合の会議は行きづらいが、話はしたい…。喫茶店で座談会のような雰囲気。学校で困ったことなどの話を聞かせてもらい、法的なことも含め、具体的なアドバイスをしている。
・友達を喫茶店に誘い、２人仲間になった。
・地域会議も月１回開催。豊田、豊橋などからも集まって情報共有を図っている。

県校長会に申し入れました！

8月４日(火)、愛教労は県小中学校校長会への申し入れを行いました。

今年度は、「30人以下学級の実現」「学テへの参加・結果の公表等しないこと」「道徳の教科化の撤回」「健康で働きやすい職場作り」「労働時間の適正な管理」「セクハラ・パワハラ等防止」「賃金諸手当の適正な支給」 などを申し入れました。

特に、鳥居公務災害訴訟の勝訴により確定した「(学年学級事務や部活動など)やらざるを得ない時間外の勤務は、校長による黙示の『包括的職務命令』による勤務であり、校務として扱う。」の判決をもとに、具体的な勤務軽減や割り振りの徹底について、校長会で十分な検討をするように申し入れました。

８月～９月のスケジュール

８月 16～18 日教育のつどい（仙台）	８月 30 日　国会包囲 10 万人集会（14:00～、国会図書館前集合）
８月 21 日　戦争法宣伝（17:20～、大須）	８月 31 日　第４回全国代表者会（11:00～、全教）
８月 21 日　愛教労幹事会（18:00～、事務所）	９月４日　拡大幹事会（17:00～、事務所）
８月 29 日　東海・近畿教育サークル愛知集会（13:00～、日福大太田川校舎）	９月５日　犬山鵜飼い
８月 29 日　不登校・登校拒否問題全国集会（12:30～、犬山ホテル）	９月５日　違憲立法に反対する愛知集会（17:30～、白川公園）

戦争法案反対運動（7/24･26･29）レポート

7/24 中央行動

① 10時半頃には、文科省前に全国の全教・教組共闘の教職員組合から続々集まってきて330人になり玄関前で集会開始。各団体からの訴えの中でも、子ども全国センターの弁護士・村田智子さんや福島高教組の斉藤さんが紹介された子ども達の生々しい話はしっかり胸に響いてきました。

②えがお署名提出の後、日比谷公園野外音楽堂に移動し、全労連・国民春闘共闘・国民大運動実行委員会の集会に合流。お弁当を食べながら参加。1800人の参加者でしたが、全教・自治労連・国公労連が特に多く参加していました。戦争法案反対・労働法制改悪反対の発言とシュプレヒコールが響き渡りました。

③厚生労働省前・人事院前に移動して公務員賃金改善とフレックスタイム導入反対の抗議・要請行動がありました。公務員賃金改善署名13万人分が提出されました。

④人事院前での集会の終わり頃から降り出した雨が激しくなった頃から国会請願デモが始まりました。衆議院前・参議院前では共産党議員団が迎えてくれて、一緒にシュプレヒコールをして要求実現を訴えました。

⑤6時半から始まる「安倍政権ノー！首相官邸包囲」行動に参加しました。日比谷野外音楽堂での集会が、若者の音楽隊入場と演奏・ダンスで始まりました。会場には若者もたくさん参加していました。発言者の言葉に「そうだ」と元気な声がたくさんかかっていました。小林節さんの「アメリカの2軍にするなんてふざけている。9月まで戦って廃案にし、来年の参議院選挙で審判を下そう。長期戦なので続けることが大切。私は今日一日がんばったので夜は休憩をとるのでこれで帰る。」という話は説得力がありました。

⑥7時頃から国会正門前に。中心部は若者達で満員となり入り込む余地がなく、道路の反対側からシュプレヒコールしました。21 時の新幹線に乗るために途中で帰りましたが、地下鉄駅「国会議事堂前」周辺は抗議の人達で溢れていました。

翌日新聞には、7万人とありました。国会議事堂の建物を直接見ながらの、そして、あの整然としている中に熱気あふれる夜の抗議行動に参加できて本当によかったです。

7/26 中央行動

猛暑の中、国会包囲行動に参加してきました。国会図書館前に集合でしたので、最寄りの地下鉄の駅「永田町」で降り、トイレを済ませて参加しようとしたのですが、駅の女子トイレの前に長蛇の列。順番を待つこと20分。やっとのことで、国会図書館前に着いたときは時には、人が溢れかえっていて、どこに行っていいのか全く分からず困りました。結局、「全教○○」という旗の近くで、舞台に立っている人のスピーチを聞いたり、シュプレヒコールを唱和したりしていました。

野党の参議院議員が次々挨拶するのを聞いていて、戦争法案反対で一点共闘できていることを強く感じました。どの弁士の言葉か忘れてしまいましたが「安倍晋三のおじいさんの岸信介の退陣直前の支持率が28％くらいだった。安倍の退陣までもう一息ではないか。安倍はアメリカでは英語でスピーチするくせに、インドネシアでは、日本語でスピーチしている。アメリカだけに媚びへつらっている。」というようなことを言っていたのが印象に残りました。

主催者発表は、2万5千人とありましたが、本当に人、人、人で国会をぐるりと 取り囲んでいるんだなと感じました。8月30日（日）には、10万人国会包囲行動が提起されています。今回の4倍の規模ということなので、愛教労からも10人くらいは行きたいものです。

7/29 名古屋ひかり広場の 2,000 人集会

名古屋市中学校教科書採択、育鵬社を排除！

7月29日（水）10:00～ 名古屋市教育委員会で臨時委員会議が開かれた。内容はズバリ、平成28年度から4年間使用する中学校教科書の採択である。そしてこの日は、社会科3分野の決定を行った。（3分野とも無記名投票で採択がされた。）公民的分野は政治制度の変化もあり、公民的資質を育てることを優先され「東京書籍」が選ばれた。歴史的分野は、「天皇についての取扱い」や「南京事件」のことの意見が出され、各委員の主張がまとまらない状態となり異例の委員投票となった。育鵬社の教科書に2票入り、しかも1度では決まらず、2度目に「教育出版」と「育鵬社」の決定投票になり、「教育出版」が採択され、戦争美化の教科書は不採択となった。しかし4年後に危険な状況になりそうだ。

今回は市民団体などと協力して、教育委員会等に要請したり、教科書展示会で意見提出を積極的に行ったりした「運動」が良い結果を生んだ。

今後も危ない教科書が採択、使用されないよう運動を続ける必要がある。

夏休み中の旅行届は提出しなくてよい！

「県外に旅行するときは、旅行届を出してください」と管理職から言われたことはありませんか。こんな時、旅行先などを届け出ないといけないのでしょうか。

結論から言いますと、旅行届を出す必要はありません。各市町村は、学校管理規則を策定しています。その中に「学校長が県外旅行をする場合、旅行届けを提出すること」という記載はあります。しかし校長以外の教職員の届けについては記載がありません。先日、愛教労が県教委の法務グループや小中人事グループに確認したところ「旅行届の規定はない」「提出する根拠もない」との回答が得られました。

自由利用である年次休暇や夏期休暇の過ごし方を報告させることは、管理職の越権行為です。

校務とプライベートの区別もつかない前近代的な職員管理は許されません。直ちに抗議し、「提出の根拠は？」と尋ねてみましょう。

愛教労は、困ったときの駆け込み寺です！

職場でのパワハラ、セクハラ、また、意に沿わない異動、過酷な長時間勤務や部活問題などでお悩みの方はいらっしゃいませんか？

職場で発生する様々な問題で、心をくじかれてしまった先生たちを、私たち愛教労は何人も救済してきました。同じ教員として、組合員である、なしにかかわらず、お話を親身になって伺い、解決するまで全面的にご支援します。

相談に際して、費用は一切かかりません。勤務校の近くにいる組合員の先生が、すぐに駆けつけます。状況に応じて、お勤めの学校の管理職との話し合いにも同行し、問題が解決するまで寄り添います。ご相談頂いた内容については、一切、外部に漏れることはありませんので、安心してご相談ください。

愛知県教職員労働組合協議会（愛教労）
＜Tel＞ 052-242-4474
＜Fax＞ 052-242-2938
＜e-mail＞ aichi@aikyourou.jp
事務所での受付（月～金、PM２～５時半）